

会議録

会議の名称	子ども子育て審議会児童館等再編成専門部会（平成30年度第3回）
開催日時	平成30年8月29日（水曜日）午後7時から9時まで
開催場所	イングビル第3・4会議室
出席者	<p>【部会員】 林部会長、尾崎部会員、島崎部会員、蓮見部会員</p> <p>【事務局】 子育て支援部参与兼子育て支援課長 飯島、児童青少年課長 原島、児童青少年課長補佐 國府方、保谷柳沢児童館長 増田、田無柳沢児童センター長 町田、児童青少年課児童青少年係 菅原、高橋</p> <p>（欠席 大橋部会員）</p>
議題	<p>議題1</p> <p>（1）児童館等再編成方針（素案）修正について</p> <p>（2）子どもへの意見聴取について</p> <p>議題2 その他</p>
会議資料の名称	<p>資料1 児童館等再編成方針（素案）</p> <p>資料2 子どもへの意見聴取について</p>
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>1. 児童館等再編成方針（素案）修正について</p> <p>○林部会長： 前回の会議での部会員からの意見を反映させた児童館再編成方針（素案）について、事務局からの説明を求める。</p> <p>○事務局： （資料1に基づき、前回からの修正点について説明）</p> <p>○林部会長： 素案の修正に関し、何か質問、意見等はあるか。児童館を機能別に3つに分けるとの方針素案の中で、特に基幹型児童館について機能を追加すべき等の意見があれば反映させたいが、どうか。</p> <p>○尾崎部会員： 10ページの特化型児童館に関して、夏休み期間中のため学童クラブ連絡協議会全体としての意見集約はまだできていないが、年末に市に対して提出を予定している各父母会からの要望の中で、南部地域の児童館が減らされると困るという意見が出ている。 また、連絡協議会事務局の会議の中では、特化型児童館を田無駅に近い向台学童クラブの辺りに設置すれば、多くの利用者が見込めるのではないかという意見があった。</p> <p>○林部会長： 統廃合により児童館の数が減ることに関しては意見もあると思うが、再編成の前提となる公共施設等総合管理計画の中でも、南部地域の児童館を統廃合すると明記されているため、計画との整合性をどうするかを考えなければならない。特化型児童館の場所については、建てられる土地があるのか等いろいろ課題があると思う。</p> <p>○蓮見部会員： 南部地域の児童館とは、具体的にはどこを指すのか。</p> <p>○事務局： 保谷柳沢児童館、田無柳沢児童センター、新町児童館、芝久保児童館、田無児童館の</p>	

5館である。

○蓮見部会員：

2館を統廃合した上で、そのうち1館を特化型児童館にするのか。あるいは、新たに特化型児童館を建設するのか。

○事務局：

今のところ2館を1つにして、それを特化型児童館とすることを考えている。

○蓮見部会員：

統廃合するというのは決定事項なのか。

○事務局：

公共施設等総合管理計画の中で、1～2館を統廃合することは決まっている。

○蓮見部会員：

前回、児童館を減らすことは望ましくないなど様々な意見が出たが、この部会として統廃合はすべきでないという結論になった場合はどうなるのか。

○林部会長：

専門部会での結論が出れば、それを子ども子育て審議会に上げることになるが、その中で審議会として修正するということもあり得る。児童館を減らしたくないという意見も理解できるが、一方で行財政改革の観点からは、このままで行くというのは難しい面もある。

○尾崎部会員：

南部地域の児童館のうち、保谷柳沢児童館と田無児童館は公営住宅の1階に設置されており、芝久保児童館と田無柳沢児童センターはそもそも規模が小さい。それらの館の立地が特化型児童館にふさわしいのか疑問に思うが、市の方向性としてはどうなのか。

○事務局：

場所については検討中のため、どこに作るかは未定である。

○尾崎部会員：

統廃合後の跡地にするか、用地を新規取得するかを含めて検討中ということか。

○事務局：

検討中ではあるが、用地の新規取得はないと考えている。

○林部会長：

今後、小学校の統廃合などがあって学校敷地が空くのなら、新規取得せずに済む可能性もあり得るかもしれない。

○蓮見部会員：

特化型児童館が、現状では市の北部にしか設置されていないことを考えると、南部地域に新たに作るというのはよい案だと思う。ただ、ひばりが丘や下保谷のように十分な広さが確保できるのか、また子どもが行きやすい場所に作れるのか疑問はある。

○島崎部会員：

今の特化型児童館は、比較的市の端の方にあるので、新たに作るのであれば市の中央寄りが理想的だが、用地の新規取得がないとなると選択肢が限られてしまう。

○蓮見部会員：

市の端の方といっても、駅から近いという面もある。駅から近くて行きやすいというのは魅力的だと思う。行きやすさを考えれば、小学校の近くというのもあり得る。

○尾崎部会員：

中高生を対象とした特化型児童館を作るなら、小学校の近くにある必要はないのでは

ないか。また、市の端ということ言えば、下保谷児童センターは練馬区からの利用者が多いとも聞いており、例えば南端の新町児童館の場所に建設すると、隣接する武蔵野市からの利用者が多くなってしまうという心配もある。

○島崎部会員：

新たに作る特化型児童館にも学童クラブを入れるということであれば、統廃合される児童館の近くにあったほうが学童クラブに通う児童にとっても良いと思う。

○林部会長：

確認だが、南部地域に特化型児童館を作るという方針に対しては、特に反対意見はないということではいか。また、そのためには、どの館が対象となるかは別として既存の館の整理は必要と思うがどうか。

(各部会員 異議なし)

○林部会長：

具体的にどこに作るのかということまでは部会で結論は出せないが、南部地域に特化型を作ることで、及びそのために既存の児童館を統廃合しなければいけないことについて、部会として合意ができればよいと考える。

○尾崎部会員：

利用者に最大限配慮をすることと、利用者のニーズに合った立地を前提としてほしい。

○林部会長：

児童館の再編成を考える上で学童クラブをどうするかという問題は避けられないが、学童クラブ利用児童数が減少するのは、いつ頃からか。

○事務局：

年少人口（0～14歳）は、平成31年をピークに減少していくと推計されているが、学童クラブに関しては年々利用者が増加している状況であり、年少人口と同様に減少するとは限らないと考えている。

○尾崎部会員：

素案13ページの学童クラブに関する取組・検討内容の箇所に「中長期的には児童数が減少する見込み」とあるが、児童数のほかに学校の大規模改修も影響するので、予定がわかっているなら示してほしい。また、児童数が減っても学童クラブ利用児童数が減少する見込みはないと思われるが、その点は取組内容に反映されているのか。

○林部会長：

児童の総人数は減っていくが、学童クラブ利用者数は減少しないということではないか。

○尾崎部会員：

利用者数が減らないのであれば取組みとしては「移設」ではなく「増設」と書くべきではないか。児童館内にある学童クラブを学校内に移したとしても、支援の単位が増えることには繋がらない。

○蓮見部会員：

「校舎増改築等と整合を図りながら」とあるので、小学校の増築がある場合には、それに応じて学童クラブの面積も増やすことがあり得るという意味ではないか。

○事務局：

基本的には学童クラブは、今後小学校内に移設をしていく。年々、入会児童数が増える傾向にあり、教育委員会と空き教室の借用等の協議をする。また、学童クラブの入会

児童数が増加する見込みがある場合には、教育委員会と協議の上、増設も考えていく。

○尾崎部会員：

「移設」だと、もともとあった学童クラブがなくなるということになるのではないか。児童の受入人数が増えるならよいが、減ることはないようにしてほしい。

○林部会長：

田無第三学童クラブのように、市でも学童クラブを増やしてはいるが。

○尾崎部会員：

田無第三学童クラブの場合は、新たに学童クラブを設置しているので「移設」ではなく「新設」である。

また、13ページに「委託による運営」とあるが、試行で実施している時間延長を委託化により実現するという意味か。

○蓮見部会員：

委託学童クラブだけだと地域差が生じて良くないのではないか。

○林部会長：

市ではどのように検討しているのか。

○事務局：

今後、委託化する中で時間延長等のサービス向上を図りたいと考えている。

○林部会長：

時間延長の部分は、委託費に含まれているのか。

○事務局：

委託事業者が自主事業として行なっているため、委託費には含まれていない。

○尾崎部会員：

今の話は、夜の閉所時間の延長のことではないか。朝の開所時間15分の延長分はどうか。

○事務局：

開所時間の延長も委託費には含まれていない。事業者の持ち出しで行なわれている。

○蓮見部会員：

素案どおりなら基幹型児童館だけが直営になるが、委託化されるとサービスは向上するのか。

○事務局：

委託事業者でないとできないサービスもある。

○林部会長：

保育園の前延長は延長料金を取っているのだから、学童クラブでも取るというのもおかしくはないと思う。

前回の子ども子育て審議会で、森田会長が子ども食堂に関して発言されたと聞いているが、出席されていた部会員はどのように理解したか。

○蓮見部会員：

学童クラブは児童の預かり場所だが、子ども食堂も同じだという考え方なのかもしれない。子ども食堂があった方がよいとは思いますが、児童館再編成の中でどう議論してよいのか分からない部分はある。

○林部会長：

児童館が主体となって子ども食堂を実施すべきということではなく、実施場所として利用できるようにすれば良いとの趣旨だと思う。素案6ページの「課題への対応」の箇

所に盛り込んでどうか。

○島崎部会員：

確かに、子ども食堂や放課後カフェを行うには実施場所を借りる必要がある。備品なども借りられると助かる。

○蓮見部会員：

青嵐中でも放課後カフェを行っているが、普段聞けない生徒の悩みなども聞くことができる。

○尾崎部会員：

夏休みが終わると学校に足が向かなくなる子もいる。学校以外の居場所があればよいと思う。

○林部会長：

では6ページの「課題への対応」に入れることにしたい。10ページの統廃合について、どこにするかまでは入れられないが、書きぶりを検討する必要がある。また、13ページの学童クラブの移設と増設についての書き方も事務局で検討をお願いします。

○尾崎部会員：

19ページの学童クラブの表中、みどり学童クラブと北芝久保学童クラブが「単設」となっているが、実際は地区会館に併設されているので誤解を招くのではないか。

○事務局：

学童クラブとしては単独で設置されているため「単設」と記載している。

○尾崎部会員：

何らかの施設と同じ建物内にあることで学童クラブの運営に違いは生じないのか。

○事務局：

特に違いはない。

○林部会長：

併設されている地区会館の開館時間と学童クラブの開所時間は関連しているのか。

○事務局：

関連はしていない。児童館併設の学童クラブでも同様である。

○蓮見部会員：

実際に学童クラブを利用している人が誤解を招くというのであれば、意見を尊重すべきではないか。また、13ページに「児童数が減少することが見込まれることから…」とあるのは文章として分かりにくい。

○林部会長：

児童数は減っていくが、学童クラブ利用者は減らないということを書けばよいのではないか。

○事務局：

そのように修正する。

2. 子どもへの意見聴取について

○林部会長：

次に議題2の子どもへの意見聴取について、事務局からの説明を求める。

○事務局：

(資料2に基づき、中高生へのヒアリング、アンケートの実施について説明)

南部地域への特化型児童館設置に関し、南部地域の中学校生徒、市内高校生徒、児童

館利用中高生へのアンケートやヒアリングの実施を予定している。

○林部会長：

南部地域の中学校とはどこのことか。

○事務局：

田無第一中、田無第四中、柳沢中の3校を考えている。

○島崎部会員：

アンケートの15番「南部地域で中高生が過ごせる場所」の選択肢に東伏見コミュニティセンターを入れてはどうか。

○尾崎部会員：

6番の「児童館の利用時間」に「平日の午前中」という選択肢があるが、通常は学校に通っている時間帯なので、長期休暇中の平日であることを明記した方がよいのではないか。

○事務局：

いずれもそのように修正する。

○林部会長：

アンケートの実施時期は、いつ頃を予定しているのか。

○事務局：

10月20日頃までに集計ができるようにしたいと考えている。内容が固まれば9月中に実施したい。

○尾崎部会員：

武蔵野女子学院は中高一貫校だが、高校だけを対象とするのか。

○林部会長：

位置的には南部地域に該当するので、高校だけでなく中学校でもアンケート実施を検討してほしい。他にアンケートの内容に意見等があれば、9月10日までに事務局にメール等で連絡をしてほしい。

3. その他

○事務局：

次回の専門部会開催は10月3日を予定していたが、アンケート、ヒアリング実施後の11月に延期させていただきたい。

○林部会長：

以上で本日の会議は終了とする。